

データ入稿時の注意事項

※イラストレータでの作業をお願いします。

1. 文字は全てアウトライン化処理してありますか？ ……………
2. 配置した画像や図形は埋め込まれていますか？ ……………
リンクの場合は元データが添付されていますか。
3. 紙面からはみ出る画像や色帯などは、
紙面の外側までデータが入っていますか？ ……………
(絵や色面等の全てのオブジェクトについて、紙面の端で切る場合、
裁ち位置より3ミリ以上外側にオブジェクトを残してください。)
4. 配置画像のカラーモードは、CMYK ですか？ ……………
(写真は4色の場合はCMYK、1色の場合はグレースケール(モノクロ
二階調も含む)です。
RGB カラーやLab カラー、ダブルトーンカラーは使用しないでください。)
5. 4色の場合、文字や図形はCMYKで指定されていますか？ ……………
(DICなどの特色は指定しないでください)
6. そのページの色数は間違っていないですか？ ……………
(1色のページなら黒しか使えません)
7. 紙面のサイズと合っていますか。 ……………
(A4なら書類設定をA4にする)
8. 目次のページ番号と、実際のページの番号は合っていますか？ ……………

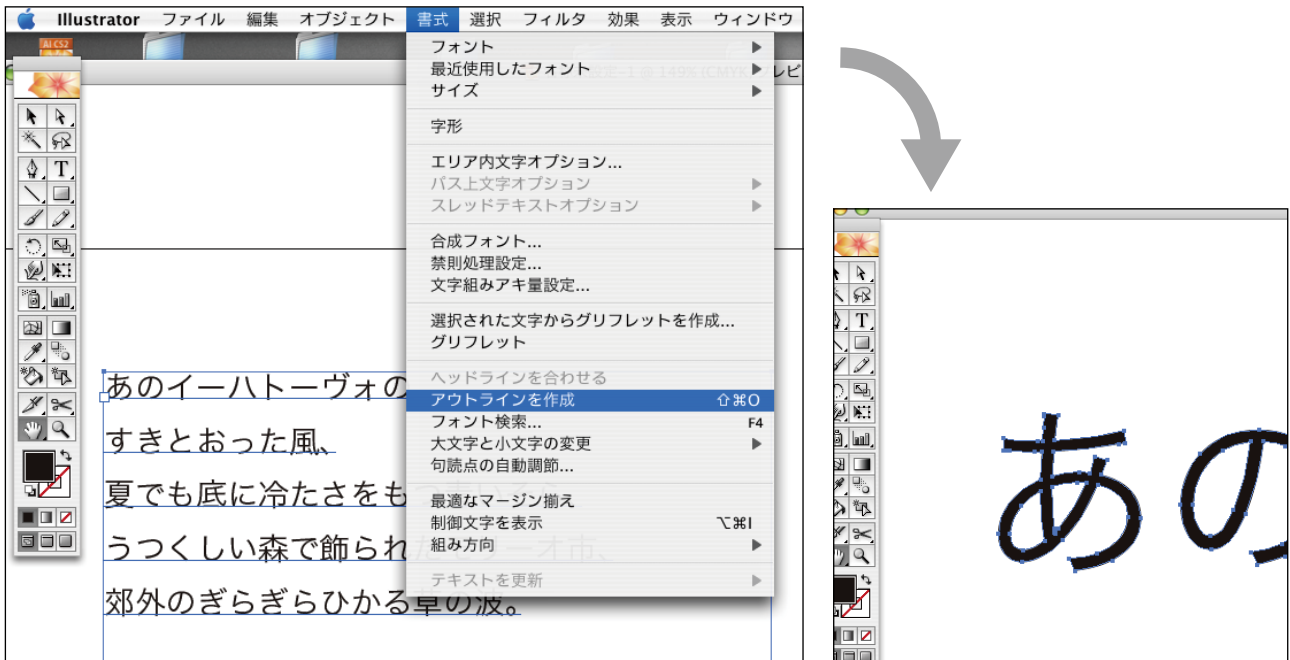
- ・透明効果は多用しないでください。(複雑な処理は出力トラブルになります)
また、透明効果での色作りや色濃度調整はしないでください。
色を作る場合や色を薄くしたい場合は、カラーパレットのCMYKの掛け合わせや、濃度調整スライダーのパーセントで指定してください。

※ブース名などが、目次や本文ページに出てくると思いますが、
名称が統一されているか、もう一度確認してください。

1. 文字のアウトライン化処理とは

テキストデータを図形化します。

印刷業者が使われているフォントを全て持っているわけではないので必ずアウトライン化（図形化）処理してください。

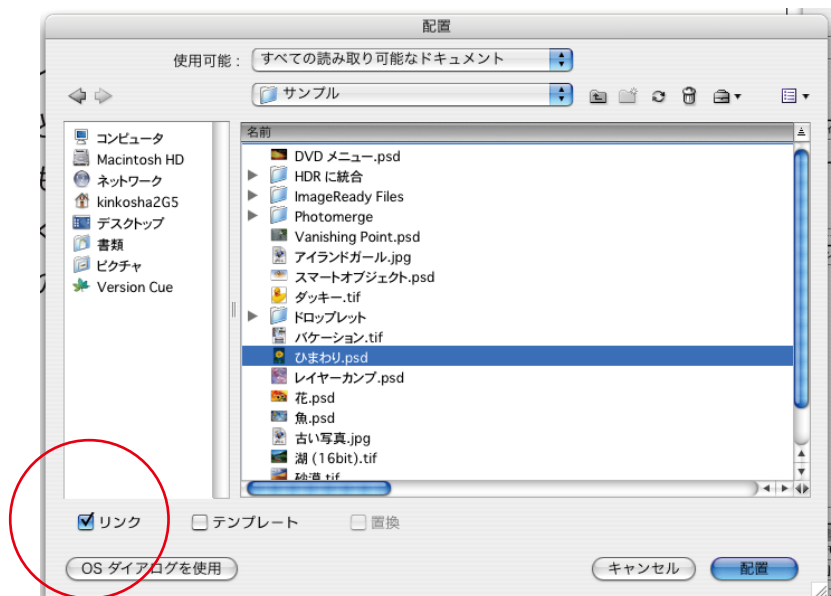


イラストレータ CS2 Mac 版の画面

2. 配置画像とリンク画像

画像はイラストレータに配置できる形式であれば基本的に何でも良いですが、PSD や TIFF、EPS あるいは JPEG でお願いします。
(※TIFF や EPS はデータ容量が大きくなるので PSD が無難)

配置ダイアログボックスで、左下のリンクにチェックがしてあれば画像はリンクデータとなり、チェックしなければ自動的に埋め込みデータとなり、元の画像は必要ありません。



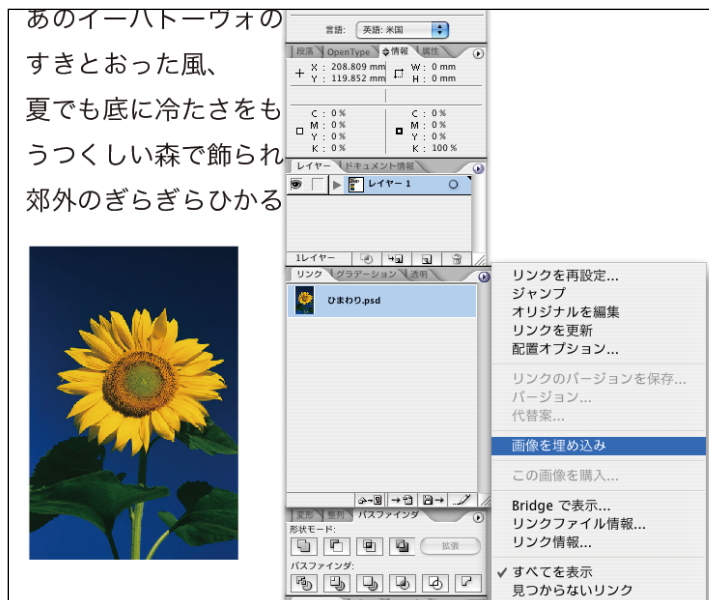
イラストレータ CS2 Mac 版の画面

2. 配置画像とリンク画像

配置する画像の解像度は実際に配置する大きさ(原寸)で300dpi~350dpiあるときれいに印刷されます。これより少ないと画が粗くなってしまいます。多いと無駄にデータ容量が大きくなり、コピーやデータ送信に時間がかかってしまいます。



リンクした配置画像



リンク後に埋め込みをした配置画像

☆リンクした場合は必ず元の画像データを添付することを忘れないでください。

☆解像度は原寸で300~350dpi くらいです。



配置画像



配置画像の解像度

必ず
インチで

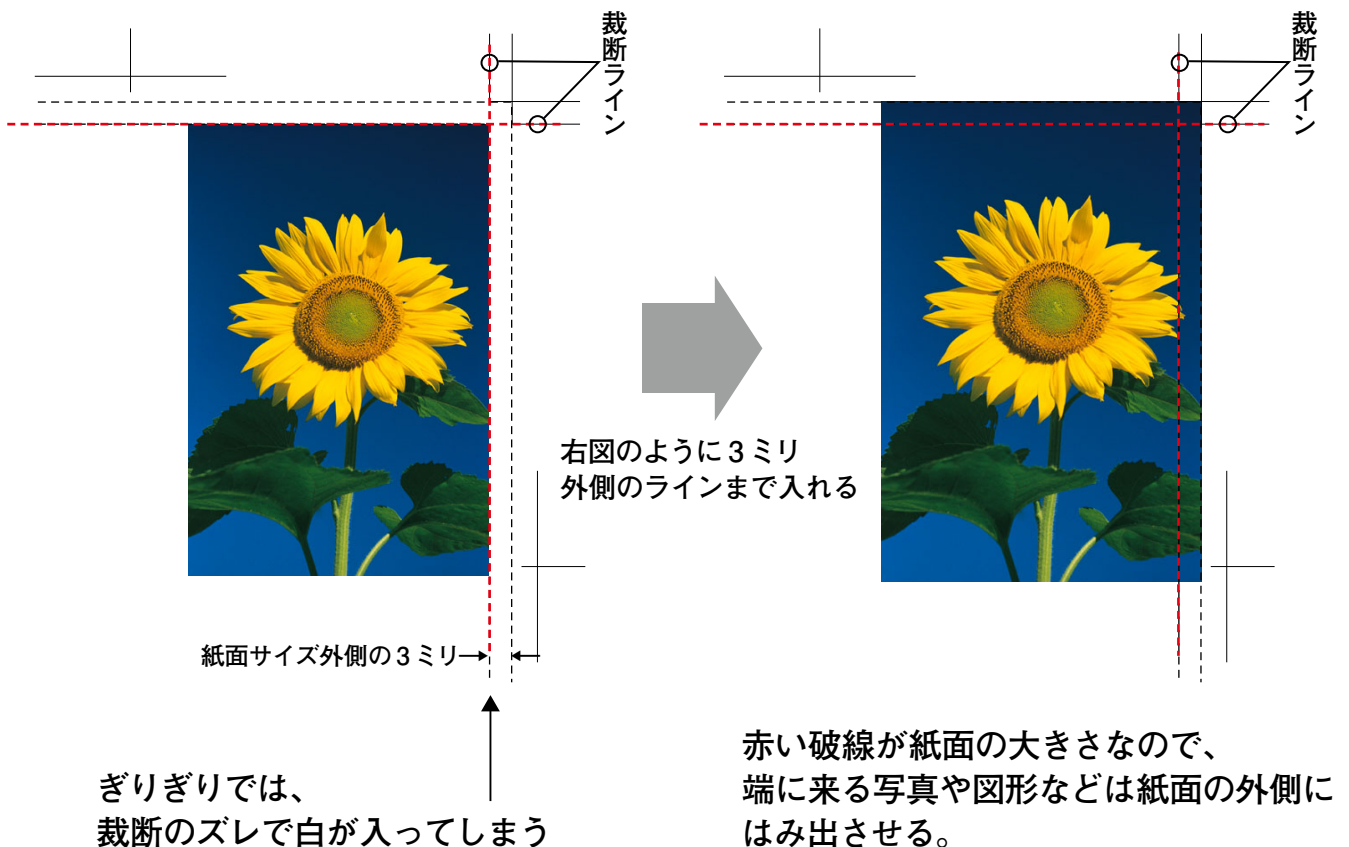


元が粗い画像は解像度を高くしても粗いままです。
解像度を上げたからといって、それ以上きれいにはなりません。

3. 紙面からはみ出る画像や色帯などには、塗り足しが必要

紙面の端まできている画像や線などは、裁断位置の外側（トンボの3ミリ外側）まで入れてください。

ぎりぎりに置くと、裁ち落としの際、余白が生じることがあります。



- ・イラストレータはCMYKカラーモードで作成してください。
- ・データはなるべくシンプルに、容量もなるべく軽くなるようにしてください。
- ・ドキュメント欄外に余計なデータが残っていないか注意してください。
- ・色はカラーパレットのCMYKスライダで設定してください。
(透明効果で色の濃さを調整しないでください。)